

## 日本ケーブルラボ運用仕様 認定試験項目(STB 用)

### JLabs SPEC-020 3.0 版 ケーブル DLNA 運用仕様

No.	テスト項目	内容
1. ネットワークを介した予約録画		
1.1	DMS(外部機器)起動確認  DMS の一覧表示	DMP が DMS に WoL パケットを発行し、起動することを確認 DMP が対象機器を発見し、フレンドリーネームを表示することを確認。
1.2	残量アラート(リソース不足時)	DMP の Upload 録画予約時の HDD 残量不足に対するアラートを表示する事を確認
1.3	録画済番組消去(オプション)	DMP より削除を実施し、録画済番組一覧より消去され、DMS の録画済番組再生選択画面上消去されていることを確認 DMS により保護されている番組は消去不能で、DMP の画面上にエラーが表示されることの確認
1.4	重複予約アラート	DMP より録画予約時に同時刻の同番組の予約があった場合、予約重複アラートの表示があることを確認
1.5	パレンタル変動(Pre 録画)  DMS 判定・登録  EPG の表示  EPG 番組選択  録画開始・録画中・録画終了表示	予約録画時に、録画開始時間より AnnexF に準拠して一定時間前より録画を開始する(Pre 録画)時、前番組の視聴年齢制限(パレンタル)値が異なる場合に、前番組の Pre 録画部分の取り扱いに関して確認  AnnexG に従い、接続された DMS が本仕様準拠であることを判別し、準拠の DMS を機器一覧に表示することを確認。
1.6	パレンタル変動(録画中)	時間指定録画、即時録画で番組(イベント)を跨いで録画した時、視聴年齢制限(パレンタル)値がイベント間で異なる場合の確認
1.7	CCI 変動(Pre 録画)  EPG の表示  EPG 番組選択	予約録画時に、録画開始時間より AnnexF に準拠して一定時間前より録画を開始する(Pre 録画)時、前番組のコピー制御値と該当番組のコピー制御値が異なる場合に、前番組の Pre 録画部分の取り扱いに関して確認
1.8	頭切れ回避	2 つ以上の番組(イベント)を連続して録画予約した場合、AnnexG の識別子 F に記載の時間分早めに前の番組録画を終了することを確認する
1.9	CCI 変動(録画中)	時間指定予約録画中に、前番組のコピー制御値と次番組のコピー制御値が異なる場合に、録画番組の取り扱いに関して確認
2. ネットワークを介した録画番組視聴		
2.1	8.13:録画番組一覧	録画済番組の一覧表示の必須項目表示確認 ・番組タイトル ・録画日時 ・録画時間 5.1.6 項に記載の必須互換メディアフォーマットの番組の表示を確認

2.2	サムネイル・アイコン表示	録画済番組の一覧を取得し表示する場合、JCTEA STD-007 5.4 版 9.2 項に基づき録画済番組の一覧にチューナ container、またはチャンネル item の property を参照し、適切なアイコンや、サムネイルを表示することの確認 番組内容の一部を使ったサムネイルの表示は任意
2.3	番組一覧から再生  再生ステータス表示  番組情報表示  MPEG BC 音声の再生	DMP が録画済番組の一覧より選択した番組が再生されることの確認。 DMP 本体、または接続されている TV モニタ上で、再生開始表示、タイムシーク表示確認  DMP により、DMS 保持された番組情報を表示できる事を確認(番組詳細情報表示に関しては、機器実装依存) DMP は DMS に録画された MPEG1L2 音声、および MPEG2BC 音声の再生が可能であること
2.4	トリックプレイ	DMP にてタイムシークによるトリックプレイを確認
2.5	視聴年齢制限の継承	視聴年齢制限のある番組に関して、DMS に録画済み番組一覧の該当番組非表示と PIN コード入力による視聴年齢制限解除の確認
2.6	再生中エラー表示	再生不能時、DMP の接続されているモニタ上に、Annex I に準拠したエラー表示が表示されることの確認
3. ネットワークを介した即時ダビング(受信)		
3.1.	試験準備	
3.2.	DMS 判定登録／一覧表示試験	被試験機の DMS を操作し、DMS のフレンドリーネーム一覧表示画面を確認する
3.3.	残量アラート	WoL による起動確認、即時ダビング予約実行と、同予約時にダビング先の残量不足による、残量アラートが被試験機 DMS に表示されることの確認
3.4.	パレンタル変動するストリームのダビング	視聴年齢制限変動コンテンツを利用して以下を確認 ・一覧表示 ・ 視聴年齢制限番組タイトル表示制限 ・ ダビング番組選択 ・ HDD 残量表示確認 ・ ダビング先が、本仕様準拠機器に限定されていることの確認 ・ ダビング予約確認 ・ 番組転送確認 ・ ダビング後の属性維持 など
3.5.	重複予約アラート	自機録画の優先と、即時ダビングによる、重複予約アラートが被試験機 DMS に表示されることの確認
3.6.	通信エラー表示の確認	ダビング中にネットワークエラーが発生した場合に被試験機が適切なエラー番号を表示することの確認
3.7.	CCI 変動するストリームのダビング	コピー制御情報が途中で変化する録画済番組のダビング可否と、転送中、転送終了のステータス表示、ダビング後の属性の維持を確認する
4. ネットワークを介した即時ダビング(送信)		
4.1.	試験準備	

4.2.	DMS 判定登録／一覧表示試験	被試験機の DMS を操作し、DMS のフレンドリーネーム一覧表示画面を確認する
4.3.	残量アラート	WoL による起動確認、即時ダビング予約実行と、同予約時にダビング先の残量不足による、残量アラートが被試験機 DMS に表示されることの確認
4.4	パレンタル変動するストリームのダビング	視聴年齢制限変動コンテンツを利用して以下を確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一覧表示</li> <li>・ 視聴年齢制限番組タイトル表示制限</li> <li>・ ダビング番組選択</li> <li>・ HDD 残量表示確認</li> <li>・ ダビング先が、本仕様準拠機器に限定されていることの確認</li> <li>・ ダビング予約確認</li> <li>・ 番組転送確認</li> <li>・ ダビング後の属性維持</li> </ul> など
4.5	重複予約アラート	自機録画の優先と、即時ダビングによる、重複予約アラートが被試験機 DMS に表示されることの確認
4.6	通信エラー表示の確認	ダビング中にネットワークエラーが発生した場合に被試験機が適切なエラー番号を表示することの確認
4.7	CCI 変動するストリームのダビング	コピー制御情報が途中で変化する録画済番組のダビング可否と、転送中、転送終了のステータス表示、ダビング後の属性の維持を確認する
5. リモート視聴		
5.1	ペアリング	規定の台数がペアリングされることを確認
5.2	有効期限	規定の有効期限が設定され、期限切れの通知、表示がされることを確認
5.3	インヒビットリスト	インヒビットリストに基づき配信制約を行うことを確認
5.4	パレンタル	AnnexD に基づく、視聴年齢制限番組タイトル表示制限が正しく行われることを確認
5.5	NAT 越え	インターネット経由で M-DMP から DMS が発見できること
5.6	再生動作	デバイスに適したフォーマットでの再生を確認
5.7	トリックプレイ	6.5 項に準拠したトリックプレイ機能の実装
5.8	コンテンツ削除	リモート視聴中のコンテンツを本体にて削除した場合の動作を確認 ※仕様書上の記載はないが、削除操作を実行できる場合各機器の振る舞いを確認する
5.9	コピー制御番組のリアルタイム視聴	コピーネバー番組のリアルタイム番組視聴の確認